

稲村ひさお 活動報告 1 期目総括号



ひさお君

4 年前、私は、多くの皆様のご支援、ご協力を賜り、北海道議会議員に初当選させて頂きました。あの時感じた感謝と責任を忘れはしません。

さて、現在の道政に対して皆様はどのような印象をお持ちでしょうか？財政難を理由に、道民や地域を無視した知事の姿勢が露骨になってきているとは思いませんか？

私は、この1期目4年間の道議会活動を通じ、このような知事の道政運営を見直すよう指摘してきておりますが、解決すべき課題はまだ山積しています。

今回の「活動報告 1 期目総括号」は、こうした私の活動を皆様にご報告し、皆様からさらなるご意見等を頂戴しようにするものです。是非、ご一読いただき、ご意見をお寄せください。

私は、地域で生活する皆様の不安や怒りを背に全力疾走いたしますので、今後ともよろしくお願いいたします。

北海道議会議員

稲村久男

活動報告内容

- 私の活動理念
- 私の1期目の主な活動報告
- 私の経歴

参考資料

- 道財政の現状と対策
- 収支不足額の推移

発行

稲村ひさお事務所

〒 073-0113

砂川市晴見3条北10丁目9番4号

私の活動理念 — 地方から政治を変える！ —

北海道、とりわけ私達が暮らす空知は、自治体財政、医療、農業、雇用など国策によるひずみや格差が最も集中している地域です。私は、地方の衰退は国の崩壊につながると考えます。

安心して元気に暮らせる地域社会の実現、そして地方自治の基盤づくりのため、国や道にもしっかりと責任を持たせる道政の実現をめざします。

このため、皆さんとの対話を基本に、その切実な声を道政に届けるよう、はっきり発言、しっかり行動します！

私の1期目4年間の主な活動報告

■ 市町村財政の再建

住民サービスに直接関わる「市町村財政」を再建することは、私の最優先課題のひとつです。

現場の方々から伺った「生の声」をもとに、道議会において夕張市をはじめとする旧産炭地などの財政問題を再三取り上げ、道による支援策の充実や国への支援要請を確認しました。

また、旧産炭地議員連絡協議会の会長として、民主党政権に対し新たな財政支援を求めました。

■ 地域医療の確保

皆さんが安心して暮らせる社会を築くために、いのちや健康を守る「地域医療」を確保することは、私のライフワークです。

私は、道議会での質疑をはじめ様々な場面で、崩壊寸前の地域医療に道が主体となって対応していくべきであると主張しました。とりわけ、自治体病院などの広域化・連携構想に関して、私が提案した「モデル地区の設定」に対し道が重点地域を設定し支援に取り組む考えを示したことは、皆さんの切実な声を道政に送り届けた結果であると考えています。また、公立病院の改築に対して、有利な借り入れである過疎債を適用し返済期間を延長させたことは、市町村と連携した取り組みの大きな成果であると考えています。

■ 道立試験研究機関独法化の課題への対応

農業試験場や水産試験場などの「道立試験研究機関」は、北海道の産業や道民生活の向上に大きく貢献してきた道民の財産です。

道が、具体的な制度設計もできていない段階で、行財政改革のみの視点から独立行政法人化することや、未だ市町村や関係団体の理解を得られていないことなどの問題点を指摘しました。

私の経歴

1955年 砂川生まれ

1974年 砂川南高校卒業

1974年 砂川市役所勤務（平成10年退職）

1999年 砂川市議会議員初当選

2003年 砂川市議会議員2期目当選

2007年 北海道議会議員初当選

○所属委員会

前期：総務委員会、

産炭地振興・エネルギー問題調査特別委員会

後期：総務委員会、

食と観光対策特別委員会 理事

○一般質問回数 4回 48項目

○委員会での質問回数 11回 87項目